

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	高齢者古典的ホジキンリンパ腫の臨床病理学的特徴と治療に関する 多施設共同後方視的観察研究: HORIZON study
	研究目的	古典的ホジキンリンパ腫は、日本では比較的発生頻度が低いリンパ腫の一つで す。比較的若年者に多く、適切な初回治療で治癒可能な疾患です。しかし、古 典的ホジキンリンパ腫の 20-30%は 60 歳以上の高齢者に発症し、欧米からの 研究報告によると、これら的高齢患者さんでは、治療成績が不良である可能性 が指摘されています。ただし、本邦における高齢者古典的ホジキンリンパ腫の 患者さんに関する治療成績は報告されておりません。そこで、2007-2016 年に 診断された 61 歳以上のホジキンリンパ腫患者さんを対象として、治療の内容、 治療の効果、副作用を調査し、診療実態を明らかにすることを目的として行わ れます。
	研究対象者	2007 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日の 10 年間に当院を含む国内の 参加施設でホジキンリンパ腫と診断され、診断された際に 61 歳以上であ った患者さんを対象としています
	研究期間	西 暦 2018 年 7 月 20 日 ~ 西 暦 2021 年 5 月 15 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(病理組織検体) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	神奈川県立がんセンター 腫瘍内科 本橋賢治
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	神奈川県立がんセンター腫瘍内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	国立病院機構 名古屋医療センター 血液内科 永井 宏和 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 蒔田 真一